

着工日 5/30（予定） 終了日 6月末（予定） 作業進捗により日程のズレあり

※工期中（月）～（土）9:00-17:00 工事

工期にあわせて以下の順番でスタッフによる復旧作業を行う

①M3F（3日間）

- ・ 配架チェック・移動作業済（4/25）

★図書の置き場所 … M3Fフロア内（空き書架・東側・西側）

《4F配架チェック》…現在の作業

②M4F（①～⑦ 7ブロック・1ブロック3日間） ※21日間

- ・ M4F 西側部分（①～③）は一番端の書架に筋交いを入れる
- ・ M4F 東側部分（④～⑦）はすべての書架に筋交いを入れる

※工事作業中以外のブロックの搬入・搬出は可能だが粉塵が出る

※工事作業中の両隣のブロックは空いている状態とする

★雑誌の置き場所 … 5F廊下・3F～4Fフロア内・地下（含駐車場）

③分室4F（A・Bブロック 計3日間）

中央図書館地下記念文庫室（1日間）

中央図書館分室1F・2F・3F（1日間）

※事前に分室4Fの落下図書を書架へ戻し、請求記号順に別の場所へ搬出（6月2週）

※分室Aブロック作業終了後に記念文庫・分室1F～3Fの作業を2日間行い、その間にAブロックの図書の搬入とBブロックの図書の搬出を行う

※分室1F～3Fの作業にブックトラック2台程度必要（業者使用）

※記念文庫室は3ブロックごとに1～2列棚板を外して業者が図書の取り出しを行う。  
それ以外の列は図書館で作業を行う。

★図書の置き場所 … 28番教室（大学院棟）・階段踊り場・1Fフロア  
（その他教室が借りることができるかどうか確認中）

◎その他作業が必要な部分

- 1）記念文庫室（上層・下層）
- 2）分室1F閉架（移動式書架）
- 3）新聞室（専図協）
- 4）5号館
- 5）6号館

## M4F 作業について【手順】

①西側①～③部分の仕分け

②書架の状況チェック（棚表への記入）←4/26 午後

③運び出し（3F へ、学院コーナー・仙台・宮城県資料は4F 東側の空き書架へ）

※搬出は入り口に近い③→②→①の順番で行う（学院・新聞コーナーは別）

※余震により混ざる可能性もあるため洋雑誌は和書のフロアへおく

※ブックトラックで運びだし、必要なものはビニール紐で縛る

④保管（3F 通路へ列番号ごとに配置）

※ 4/26 に使用面積等確認するために試しに置いてから詳細検討

⑤東側④～⑦部分の仕分け

②書架の状況チェック（棚表への記入）

③運び出し（4F へ、ただし西側①～③での保管場所の使用状況による）

※ 搬出も④～⑦の順番（紀要・論集コーナーは別）

④保管